

令和2年度 第2回四万十市子ども・子育て会議 議事録

【日 時】 令和3年2月10日（水）午後1時30分～

【場 所】 四万十市役所6階 議員協議会室

【出席委員】 9名

　　谷本委員、佐竹委員、高松委員、岡委員、山沖委員、黒石委員

　　岡村委員、山崎委員、宮本委員

【欠席委員】 5名

　　宮崎委員、刈谷委員、武市委員、須山委員、福留委員、

【事務局】 7名

　　子育て支援課 武田課長、田村課長補佐、宇都宮保育係長、池田主任

　　名本支援係長、阿部企画係長、刈谷会計年度任用職員

【要 旨】

1 開会

（1）会長挨拶

　　会長より挨拶。

（2）会議の成立

　　子ども・子育て会議条例第6条第2項に基づき会議の成立を報告。

2 議こと等

（1）第1回子ども・子育て検討会の報告について

　　事務局より説明。

＜主な説明内容＞

　　令和3年1月27日に第1回検討会を開催した。13団体から23名が参加し、第2期子ども・子育て支援こと業計画、保育計画の見直し、その他として主に一時預かりこと業の検討の3点について意見交換を行った。第2期子ども・子育て支援こと業計画に関しては意見なし。保育計画については、「アウェイ育児」という文言についてご意見いただいた。その他の項目では、一時預かりこと業はニーズが高くぜひ実施してほしいが保育士の負担も考えて人員配置に配慮してほしいという意見、ファミサポとの違いなどに関する質問、子育てに関する相談窓口の設置に関する要望などが出された。

■出された意見等

	～意見なし～
--	--------

（2）第2期四万十市子ども・子育て支援こと業計画の進捗管理について

　　事務局より説明。

＜主な説明内容＞

　　前回の会議で素案を示し、具体的な数値を指標にするべきとご意見をいただいた。会議後、

事務局案を作成し関係各課の担当者と協議を行った。しかし、全ての項目で細部まで調整ができなかつたため、今回の資料は最終案となっていない。令和元年度の実績がまだ集計できていないため、しっかりと集計をしたうえで、その結果と今後の目標を話し合い、令和6年度の目標値を確定させたい。また、市民の認知度などを指標とした項目については、現在は調査ができない。実情を把握するためにアンケート調査を実施するようにしたい。

■出された意見等

	～意見なし～
--	--------

(3) 四万十市保育計画第2期の中間見直しについて

事務局より見直しした項目の説明。

【主な説明内容】

前回の会議及び子ども子育て検討会でいただいた意見を元に項目を見直し。最終案を資料として配布し、見直し項目を順番に説明した

■出された意見等

委員	保育所職員研修の充実というところで、あおぎ保育所を拠点園として充実させていくという形で載っているが、0～5歳児までの保育を開始するというのが理由で拠点園になったのか。
事務局	中心市街地の保育所で、0～5歳を保育していて、医療的ケアも受け入れなど経験が多い点を考慮し、あおぎ保育所を拠点園とした。
委員	具同保育所は公立保育所としてやっていくということで決定なのか。
事務局	市の方向性として公設公営で行うということで決定した。
委員	その理由はあるのか。
事務局	民設民営の場合も検討したが、前回同等の募集をした際に1園しか応募がなかったため、今回も応募がある見込みがない。次に、めぐみ乳児保育園が運営に手を挙げないことを確認していて、他の民間保育所が来ることによって競合する可能性があること。また、今現在具同保育所は少し変則的な2～5歳児の保育を行っていて、その条件を民間に募集することになったとしても、なかなか申請は来ないだろう。以上の点から、早急な老朽化対策をやろうということで公設公営で行うことが決定した。
委員	いろいろ理由はあると思うが、働くお母さん方・働く家族の方のニーズを優先してほしかった。
事務局	公設公営・民設民営のどちらであっても、保護者の方のご意見も聞きながら、責任をもって取り組んでいきたい。
委員	公立の再編の所で、入所人数の減った保育所を残せる方法を提示してほしい。例えば「一時預かり」を空いた部屋で受入するなどすれば、職員も確保できていのではないか。

事務局	他の取り組みとの複合的な組み合わせでということは提案として受け止める。
-----	-------------------------------------

(4) その他

■出された意見等

委員	都市計画のマスタープランで箱物だけ作るのではなく、そこに安心して子育てができるような、ソフト面を作る事こそが強靭なまちづくりに繋がてくると思う。子育て支援課が会議で議論した意見、保護者アンケートで出た意見などを活かして、推進していってほしい。 ～他意見なし～
----	--

事務局より挨拶。

本年度の子ども子育て会議は今回で終了となり、委員の本任期中の会議の開催も本日が最後となった。「第2期子ども子育て支援事業計画」の策定という、子育て施策を推進するうえで最も重要な事項について協議いただき、本当にありがとうございました。

3 閉会

その他意見なく閉会となる。